

新発田市では、現在11名の地域おこし協力隊が活躍しています。数ある活動地の中から、新発田を拠点として選んだ協力隊の皆さんに、「新発田」についてお話を伺いました。

地域おこし協力隊とは…都市地域から過疎地域等へ移住して、概ね3年間の任期の中で「地域協力活動」をしながらその地域への定住・定着を図る取り組み。



鎌川 小百合さん
令和5年2月 着任

経歴を生かし、地域とアートをつなぎ、新発田のまちの魅力と新たな価値を創造・発信するために日々活動されています。



▲ 加治川の桜公園の様子

漢字で書かれた“新発田”の文字。読むのが難しいというのはよく聞く話だと思いますが、私とその印象的な名前と出会ったのは10年近く前のことです。

私の場合は、“しばた”と音で聞き、あとから漢字を見て驚いたことを覚えています。

東京でアートプロジェクトを記述する講座に参加し、「写真の町シバタ」というプロジェクトの存在を知ったのが2014年。会社員を辞めてアートプロジェクトの現場に戻りたいと考えていた時期でした。翌年、縁あって新潟市の「水と土の芸術祭」の事務局で働くことになり、そこに参加していた新発田のアーティスト・吉原悠博氏と出会います。こうした出会いをきっかけに、私は新発田のまちやそこで繰り広げられる文化活動に興味を持ち、実際に足を運ぶようになり、月日は流れ2023年、地域おこし協力隊として移住するに至りました。



▲ 佐々木の川床

歴史ある新発田には、魅力的な場所がたくさんあります。しかし、役目を終えたものを残し受け継いでいくのは容易でないという現実もわかってきました。空き家などを創造活動によって活用できるようにし、発信していくプロジェクトを自身の活動として行っていきたいと考えています。具体的にはアーティスト・イン・レジデンスのような、地域や国を越えた交流を生み出し、循環する仕組みづくりを目指します。一人の力では決して実現できないこの事業を、応援して下さる地域の方々とともに、時間をかけて継続的に取り組んでいきたいと思っています。

旧米倉小学校で実施されたよねくら夏フェスの様子 ▶



令和5年7月発行

～ふるさと新発田の情報をお届けします～

第46号

ふるさとあやめ通信



令和4年度ふるさとしばた応援寄附金(ふるさと納税)ご報告

令 和4年度も「ふるさとしばた応援寄附金(ふるさと納税)」に多くの皆様からお申込みをいただき、誠にありがとうございました。

お申込みの際にお選びいただいた、寄附使い道ごとの金額をご報告いたします。

皆様からお寄せいただいた寄附金は、「少子化対策」として、地域全体で子育て世代を応援する事業をはじめ、新発田市が進める「住みよいまち日本一 健康田園文化都市・しばた」の実現のため、活用させていただきます。子どもから高齢者まで全ての市民の皆様が住み慣れた地域で元気に暮らし続けられるよう、今後も魅力あるまちづくりを進めてまいります。

引き続き、ふるさとしばた応援寄附金を通じて新発田を応援くださいますとともに新発田市の魅力に触れていただきますよう、よろしくお願いいたします。

令和4年度寄附金の使い道 (メニュー)	寄附金額
少子化対策	112,993,000円
新型コロナウイルス感染症対策	81,917,000円
産業振興	63,661,000円
健康長寿のまちづくり	33,819,000円
教育の充実	27,848,000円
市長に一任	167,686,000円
合計	487,924,000円

インターネットのふるさと納税サイトからも手軽にお申込みができます。

ふるさとチョイス
二次元バーコード



ふるなび
二次元バーコード



楽天
二次元バーコード



新発田市ふるさと納税のInstagramを始めました。
ぜひ、フォローしてください！

QRコード▶



ふるさとしばた応援寄附金

応援ありがとうございます

多くの皆様よりふるさと新発田を訪問いただきました！

関東紫雲寺会

4月6、7日にコロナ禍を経て4年ぶりにふるさとを訪問されました。

加治川治水記念公園の満開の桜が、久しぶりの訪問を歓迎するように咲き誇っており、感慨深いものとなりました。

夜は、村杉温泉にて新潟県最大級の露天風呂のラジウム温泉につかり、旅の疲れを癒し、心身をリフレッシュしました。また、地元の方とふるさとの話題で大いに盛り上がり、楽しいひと時を過ごしました。



◀ 村杉温泉長生館にて

訪れた福島潟
(菜の花の時期)



▲ 加治川治水記念公園にて



関東紫雲寺会さんが、ホームページを開設されました。
紫雲寺の「今」も掲載され情報盛り沢山です。
ぜひご覧ください。

二次元バーコード ▶



城下町新発田会

5月10、11日の日程でふるさとを訪問されました。

まずは、表敬訪問をいただき、その後、新しく開館した蔵春閣を係員の説明を聞きながらゆっくりと見学されました。夜は、月岡温泉にて旅の疲れを癒し、新発田の食材を使用した料理をご賞味いただきながら、市内在住の賛助会員のみなさまとの交流を楽しみました。

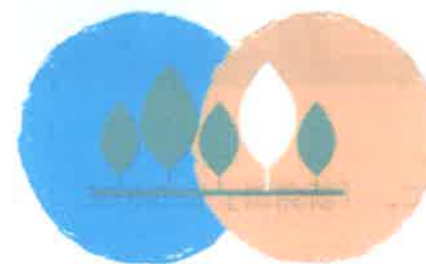


◀ 表敬訪問の様子

蔵春閣を見学 ▶



▲ 蔵春閣前にて



しばた豊浦会

5月21日に第9回ふるさと訪問及び創立25周年記念祝賀会を白玉の湯泉慶にて開催されました。

祝賀会では、多くの賛助会員のみなさまと創立25周年を祝い、迫力ある宝来太鼓や豊浦音頭、月岡芸妓による華麗な踊りを楽しみ、親睦を深められました。

また、創立25周年を記念し、ふるさとへの感謝を込めて、ご寄附を頂戴いたしました。会のご意向に沿い、大切に使用させていただきます。

▲ 寄附金贈呈



宝来太鼓 ▶



◀ 月岡芸妓



今年も開催！ 城下町新発田まつり



今年度の城下町新発田まつりは、市民総出の「しばた総まつり！！」を合言葉に、コロナ禍からの脱却、活気ある「しばた」を取り戻すことを目指し開催されます。

詳しくは、下記の二次元バーコードを読み込み、城下町新発田まつり公式ページをご覧ください。

二次元バーコード ▶

